

指標名				担当課所	基準値		R4	R5	R6（上期）	R7	令和6年度上期取組状況、今後の方針・方向性	（参考）目標値の考え方	
1 安全・安心な消費生活の確保													
消費生活用製品安全法に基づく販売店等への立入検査数	生活文化課	年間140件	期待値・目標値	年間145件	年間150件	年間155件	年間160件	下期に検査を実施する市町村が多いことから、11/19付けで全市町村に通知を発出し、数値目標を踏まえた検査実施への協力を依頼した。今後は、2月末までを期限に市町村から検査報告書を提出してもらい、立入検査数のとりまとめを行う。					製品の安全性の確保に向け、基準値から約20%増の検査件数をを目指す。
			実績	153件	168件	—							
家庭用品品質表示法に基づく販売店等への立入検査数	生活文化課	年間165件	期待値・目標値	年間174件	年間183件	年間192件	年間200件	下期に検査を実施する市町村が多いことから、11/19付けで全市町村に通知を発出し、数値目標を踏まえた検査実施への協力を依頼した。今後は、2月末までを期限に市町村から検査報告書を提出してもらい、立入検査数のとりまとめを行う。					立入検査件数全国一を目標とし、基準値から約20%増を目指す。（R2全国第1位：高知県（175件）、茨城は第2位）
			実績	184件	200件	—							
2 消費者被害の未然防止・救済													
「いばらきくらしのセミナー」受講者の満足度	消費生活センター	—	期待値・目標値	5段階評価中平均4以上	5段階評価中平均4以上	5段階評価中平均4以上	5段階評価中平均4以上	上期に50回、3,688人を対象に「いばらきくらしのセミナー」を実施し、満足度は4.8であった。引き続き、受講者の満足度向上に向け、講師の研修受講等を通じて質の高い講義を行っていく。					国消費者基本計画の研修実施の数値目標に準拠し、5段階評価中平均4以上を目指す。
			実績	4.8	4.7	4.8							
県、市町村、民間団体が実施する消費者教育講座等の実施回数	生活文化課 消費生活センター	271回	期待値・目標値	301回	605回	650回	700回	「いばらきくらしのセミナー」の実績（50回）は前年度同期（42回）よりも増えており、引き続き、学校や企業等に消費者教育講座等の活用を働きかけ、消費者被害の未然防止を図っていく。 ※実績内訳：いばらきくらしのセミナー50回、消費者教育啓発講座2回、教員向け消費者教育講座1回					アクションプラン策定時に基準としたR2は新型コロナの影響で実績が少なく、また、新型コロナ禍前の4カ年の実績の伸び方が ¹ 1.08倍（H28:656回→R1:714回）であることから、R4実績を基準に毎年1.08倍ずつ実施回数を伸ばし、コロナ禍前の水準となる基準値の1.2倍以上を目指す。
			（変更前）	(301回)	(334回)	(367回)	(400回)						
			実績	561回	584回	53回（県のみ）							
消費生活センターの認知度	生活文化課 消費生活センター	62.1%	期待値・目標値	69%	76%	83%	90%	SNSを中心に情報発信を行ったが、期待値を下回った。40歳代以下の認知度が低い状況にあるので、SNSでの投稿回数の増や、各種広報媒体を活用したさらなる周知に取り組んでいく。					国消費者基本計画の数値目標に準拠し、90%を目指す。 （62.1%＋（7%/年×4年）≒90%）
			実績	62.6%	55.5%	70.2%							
消費生活相談員養成講座受講者の試験合格率	消費生活センター	10%	期待値・目標値	15%	20%	25%	30%	上期に受講生55人を対象に計10回の講義を実施した。12/8に一次試験合格者を対象に二次試験対策として面接試験対策講座を実施する。 ※二次試験12/14・15、合格発表12/26（予定）					国全体の合格率（25.8%・R2）以上を目指す。 （（30%-10%）÷4＝5%/年）
			実績	21.7%	21.3%	—							
レベルアップ・スキルアップ研修会出席者の満足度	消費生活センター	—	期待値・目標値	5段階評価中平均4以上	5段階評価中平均4以上	5段階評価中平均4以上	5段階評価中平均4以上	上期はレベルアップ研修会を1回、スキルアップ研修会を2回開催し、受講者から期待値を超える満足度を得られた。引き続き、講師との事前調整を綿密に行い、受講者の満足度向上に向けて取り組んでいく。					国消費者基本計画の研修実施の数値目標に準拠し、5段階評価中平均4以上を目指す。
			実績	4.4	4.3	4.7							
国、県等が実施する研修への市町村行政職員の参加率	生活文化課	27.0%	期待値・目標値	40%	53%	66%	80%	11/18から、消費者行政に関する4法令の説明動画の配信を開始した。今後、消費者庁交付金に関する動画研修も計画している。これらの動画研修と併せて、国民生活センターの遠隔研修の受講も促し、市町村行政職員の研修参加率向上に取り組んでいく。					国「地方消費者行政強化作戦2020」の数値目標に準拠し、全市町村の80%の参加を目指す。
			実績	29.8%	20.4%	—							
3 消費者の自立の支援													
各種媒体を通じた情報発信回数	生活文化課 消費生活センター	101回	期待値・目標値	128回	400回	454回	510回	SNSでは県で実施するイベント・キャンペーンや消費者庁や国民生活センターから発信される注意喚起情報を発信し、ラジオや新聞では最新の相談状況や相談事例を踏まえた啓発を行った。引き続き、消費者被害の未然防止に向けてSNSを中心にこまめな情報発信を行っていく。					情報発信の媒体には、随時情報発信が可能なもの（SNS等）と年間の回数が決まっているもの（新聞等）があることから、随時情報発信ができるHPとSNSについて、R4実績を基準に、R3→R4のSNS発信回数の伸び（R3：144回→R4：178回 1.2倍）を上回る1.5倍を目標とし、情報発信全体としてはR4実績の約1.2倍を目指す。
			（変更前）	(128回)	(157回)	(187回)	(220回)						
			実績	447回	416回	150回							
「いばらき消費生活なび」HPのアクセス数	生活文化課 消費生活センター	年間46,953件	期待値・目標値	年間48,000件	年間63,000件	年間65,000件	年間67,000件	消費者教育啓発講座等の募集案内や高齢者悪質商法被害防止キャンペーンの広報、消費生活緊急情報等を発信した。引き続き、こまめな情報発信を行っていく。					R3.7月に「いばらき消費生活なび」HPを大幅にリニューアルしたことから、R4年度実績を基準に、アクセス数を年間2,000件ずつ増やし、直近7カ年の平均増加率（4.6%）を上回る10%増を目指す。
			（変更前）	(48,000件)	(49,000件)	(50,000件)	(51,000件)						
			実績	61,393件	94,222件	45,493件							
教員向け消費者教育講座の受講校の割合	生活文化課	6%（10校）	期待値・目標値	25%	87%	94%	100%	学習指導要領における消費者教育についての説明動画や、高等学校・特別支援学校・中学校の各課程における実践事例の発表動画を作成し、8/30から配信を開始した。未受講の学校へ再度通知を行うなど、受講率向上に向けて取り組んでいく。					R4年度から実施方法を変更したため、R4年度実績を基準とし、全高等学校等の受講を目指す。
			（変更前）	(25%)	(50%)	(70%)	(80%)						
			実績	80.9%	64.7%	—							
「いばらきくらしのセミナー」受講者の満足度（再掲）	消費生活センター	—	期待値・目標値	5段階評価中平均4以上	5段階評価中平均4以上	5段階評価中平均4以上	5段階評価中平均4以上	上期に50回、3,688人を対象に「いばらきくらしのセミナー」を実施し、満足度は4.8であった。引き続き、受講者の満足度向上に向け、講師の研修受講等を通じて質の高い講義を行っていく。（再掲）					国消費者基本計画の研修実施の数値目標に準拠し、5段階評価中平均4以上を目指す。（再掲）
			実績	4.8	4.7	4.8							
エシカル消費の認知度	生活文化課	18.4%	期待値・目標値	21%	24%	27%	30%	今年度の期待値は上回ったが、引き続き、更なる認知度の向上に向けて取り組んでいく。併せて、エシカル消費となる行動を実践しやすくなるような啓発も行っていく。					国消費者基本計画の数値目標に準拠し、30%を目指す。
			実績	24.6%	30.8%	36.1%							
多重債務者向け無料相談会で債務整理につながった案件の割合	生活文化課	50% （直近3か年平均）	期待値・目標値	55%	60%	65%	70%	11/26・11/28・12/3・12/5に、県内4会場で無料法律相談会を実施した。引き続き、多重債務者の債務整理に向け、法律専門家と連携し、利用しやすい相談会となるよう取り組んでいく。					より多くの案件で解決の道筋がたつよう、直近3か年平均から20%増を目指す。
			実績	69.2%	64.3%	—							
4 多様化・複雑化する消費者問題への対応													
「いばらきくらしのセミナー」受講者の満足度（若者）	消費生活センター	—	期待値・目標値	5段階評価中平均4以上	5段階評価中平均4以上	5段階評価中平均4以上	5段階評価中平均4以上	上半期に22回、2,303人の若者（高校卒業から29歳まで）を対象に「いばらきくらしのセミナー」を実施し、満足度は4.8であった。引き続き、受講者の満足度向上に向け、講師の研修受講等を通じて質の高い講義を行っていく。					国消費者基本計画の研修実施の数値目標に準拠し、5段階評価中平均4以上を目指す。
			実績	4.8	4.7	4.8							
レベルアップ・スキルアップ研修会出席者の満足度（再掲）	消費生活センター	—	期待値・目標値	5段階評価中平均4以上	5段階評価中平均4以上	5段階評価中平均4以上	5段階評価中平均4以上	上期はレベルアップ研修会を1回、スキルアップ研修会を2回開催し、受講者から期待値を超える満足度を得られた。引き続き、講師との事前調整を綿密に行い、受講者の満足度向上に向けて取り組んでいく。（再掲）					国消費者基本計画の研修実施の数値目標に準拠し、5段階評価中平均4以上を目指す。（再掲）
			実績	4.4	4.3	4.7							
5 人や社会、環境に配慮した消費活動の推進													
エシカル消費の認知度（再掲）	生活文化課	18.4%	期待値・目標値	21%	24%	27%	30%	今年度の期待値は上回ったが、引き続き、更なる認知度の向上に向けて取り組んでいく。併せて、エシカル消費となる行動を実践しやすくなるような啓発も行っていく。					国消費者基本計画の数値目標に準拠し、30%を目指す。
			実績	24.6%	30.8%	36.1%							